

1. 議長挨拶

2. 経過報告

4月14日 石教振研究協議会（連携会議役員の確認）

教育長挨拶（協議会：会長・事務局長・次長、連携会議：事務局長・事務局次長）

3. 2017年度役員体制の確認（4月14日石教振部会で確認済み）

議長 小谷 千里（花川小）

事務局長 常陸 敏男（花川中）

次長 三浦 然愛（樽川中）

研究グループ代表 中川 雄二（厚田中）

調査研修グループ代表 小村 秀喜（八幡小）

予算要望グループ代表 村井 誠（石狩中）

※上記の他石狩市公立小中学校事務職員協議会三役（会長・事務局長・事務局次長）をもって役員会を構成する。

4. 2017年度の具体的取り組みについて～＜別紙1＞

5. 各グループ活動計画について～＜別紙2＞

6. 「平成30年度石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について～＜別紙4＞

7. 実践交流

予算編成の提案及び関連する事務運営計画（厚田中）

8. 連絡事項

（1）会議日程等の連絡方法について

①連携会議に関する連絡・資料提出等は原則として電子メールを利用します。

※会議案内や議案は原則として学校アドレス宛てに送信します。

②連携会議のメールアドレスは、当分の間 hanachu@educet.plala.or.jp（花川中学校アドレス）とします。提出物などの送信はこのアドレスをお願いします。

（2）ホームページの活用について

①会議案内や会議資料については連携会議ホームページに掲載するので、いつでも確認することができます。ホームページアドレスは<http://irenkei.sub.jp>です。

②ホームページの中の「会員のページ」に入るにはパスワードが必要です。ID はirenkei、パスワードは*****です。

③ホームページには掲示板も設置しています。掲示板のパスワードはjohrtvv です。

（3）「石狩市公立小中学校の概要」（HP掲載資料）の更新について

後日、データをメールしますので数字が変更になった部分を訂正の上、事務局次長(樽川中学校)までメールを返送願います。

(4) 就学援助の手引きの改訂について・・・市教委と調整中

<別紙1> 2017年度の具体的とりくみについて

子どもの学ぶ権利の保障、生活の場としての学校づくり、学校事務の確立のため市内各校事務職員が連携して取り組みを進めます。そのため、今年度も以下の具体的取り組みを行います。

なお、学校教育法改正により、事務職員の職務の位置づけがこれまでの「事務に従事する」から「事務をつかさどる」となったことや、「共同事務室」設置を可能とする改正地教行法の動向を意識しながら活動していきたいと考えます。

(1) 学校財政と学校事務の状況調査

①決算予算調査及び学校徴収金調査

従前、決算予算調査という呼び名で実施してきましたが、今年度は実践交流として各学校の決算予算書を交流し、延び延びになっている予算公開実験につなげていきたいと考えます。また、可能な限り各学校における提案方法や提案内容についても資料化を検討します。

②学校徴収金等調査

学校財政全体との関係に注目し、公費負担増額と保護者負担軽減につなげる観点で予算要望委資料にも反映されるものとするよう検討し実施します。なお、今年度は全道協議会で提起されている「PFシート」により調査を実施できないか検討します。

③学校事務業務実態調査

「つかさどる」に係わり「マネジメント」の考え方と私たちの現状を対比させながら、職務について考えるための調査を実施します。関連してミッション加配の業務の現状や課題についても交流を深めます。

④その他の調査

メンバーの要請や新たな課題の発生など、必要に応じて種々の調査を実施します。

(2) 提言について

これまでの調査活動や実践交流等で明らかになった課題のなかから重要な課題や私たちの取り組みを集中する必要がある事項について「提言」を行います。

(3) 予算要望について

石教振事務部会の委託により、予算要望資料作成を行います。資料内容の検討は予算要望グループ会議の議論を経て、連携事務局として具体的作業を提起します。

基本的には、全道・石狩事務職員協議会の基本方針である子どもの教育権（学習権）保障の観点を重視し、保護者負担の軽減・公費化につながる予算要望となるよう留意します。

(4) 実践交流について

今年度は学校財政財務活動の実践として各校の予算編成を中心に実践交流を進めます。また、市事協の委託により研究部と一体的に石教研二次集会及び石事協研究会レポート作成にとりくみます。

(5) その他

今年度も例年同様に協議会の事務局と連携して連携会議を運営します。例年同様ですが、協議会の事務局は研修と親睦を中心に対外の折衝を中心とした事務局運営を進めていく事とし、連携会議の事務局は、学校事務業務推進のための共通理解と実践の場としての連携会議を各部の部長

や部員と共に運営して行くことを念頭に置いて進めていきます。

なお、申し合わせ事項として、市事協・連携会議の双方はお互いの活動や取り組みをそれぞれの活動や取り組みとして発表・報告することを可とします。

＜別紙２＞各グループの活動計画について

本日は各グループ代表のレジュメに沿って、グループ毎に年間計画について協議して下さい。
確認された年間計画については、次回連携会議で全体確認をします。

＜別紙３＞「平成３０年度石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について

- １．２０１６年度の取り組み状況と反省について～第８０回連携会議議案を参照してください
- ２．２０１７年度のとりくみについて
２０１７年度の基本方針と具体的要望内容等については、予算要望グループで原案を作成し次回連携会議で決定します。
- ３．スケジュール
 - （１）予算要望グループ会議（原案審議）５月３０日
 - （２）基本方針と具体的作業の確認・・・６月２３日第８２回連携会議
 - （２）各学校の資料提出夏休み明けを目途とします
 - （３）提出資料の確認９月２２日第８４回連携会議